

京都府景観資産「城下町に由来する風情ある久美浜の街なみ」

京都・久美浜

豪商 稲葉本家

国登録有形文化財
(母屋・長屋門・蔵)

千石船貿易、幕府・諸藩の公金預かり所
京都府納税額第一位「明治中期」



- 自動車でのアクセス**
- 大阪・神戸方面から(約2時間30分)
 - 舞鶴若狹自動車道「春井IC」→北近畿豊岡自動車道「日高神鍋高原IC」より久美浜へ(23km)
 - 舞鶴若狹自動車道「福知山IC」→R9→R426で久美浜へ(65km)
 - 舞鶴若狹自動車道→京都縦貫自動車道「京丹後大宮IC」→R312で久美浜へ(27km)
 - 京都方面から(約2時間)
 - 京都縦貫自動車道「京丹後大宮IC」からR312で久美浜へ(27km)
 - R9(福知山)→R426→R482で久美浜へ(福知山より60km)
- 鉄道でのアクセス**
- JR JR山陰本線「豊岡駅」下車。丹鉄豊岡線に乗り換えて15分。「久美浜駅」下車。500m。(徒歩7分。タクシーあり)
 - 京都丹後鉄道 [天橋立を経由する場合] JR山陰本線「福知山駅」下車。丹鉄に乗り換え。福知山→(特急あり)→天橋立→久美浜

豪商 稲葉本家

京都府京丹後市久美浜町3102 TEL.0772-82-2356 FAX.0772-66-3663
 ◎入館料/無料 ◎開館時間/午前9時～午後4時 ◎休館日/毎水曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始
<http://www.inabahonke.com/> 豪商稲葉本家 検索

国登録有形文化財



【ポケットパーク・モニュメント】
稲葉家々紋「折敷三文字」様式組みは、本町屈指の大石をメインに、時・旅・夢を表現し、刻時の塔・ポストの3点で構成されています。



【第13代稲葉市郎右衛門像】
この銅像は、旧国鉄宮津線の敷設や産業振興に貢献した稲葉翁を顕彰して、昭和25年熊野郡町村会によって建立されました。像は、美濃国・稲葉山城を向いています。



【庭園】
稲葉家旧庭園をベースに、著名な庭師・松守、第十六代佐野藤右衛門氏の手による庭。玄関には藤右衛門様が植えられています。



【時空を超えるポスト】
あなたのメッセージを未来へ届けてみませんか? 例え1年後のご家族に、3年後のお友達に、5年後のあなたご自身に…。(時空を超えるラブレターもありです。)



玄関

豪商稲葉本家

【館内無料ガイドあり(予約)】

当年初代喜兵衛は、織田信長の家臣団、美濃三人衆の一人稲葉鉄一族の縁者といわれている。稼業は代々「靴屋」を生業とするが、千石船を使った商売を行うなど隆盛を極めた。久美浜代官所設置の享保二十年(一七三九)には、幕府の公金預かり所となり、以降は近隣諸藩の金融を独占する豪商となった。

一万、天明大飢饉前後には、多額の金穀を献納し、苗字帯刀を許された。十二代市郎右衛門の事。明治維新、山陰道鎮撫総督西園寺公望公の本陣となり、数百名の関係者が昼食をとった。慶応四年、久美浜、縣丹後但馬丹波播磨美作計五ヶ国二十三万石)が設置される

や、勸産用掛頭取、熊野郡区長、但馬区長を務め、さらに京都府議会開設時の府議會議員、衆議院議員ともなる。

明治十七年には、地租七八〇円(約三億圓)を納める府下一の多額納税者であった翁は、金融、殖産のために努力、町の発展にも努力を惜しまなかった。歌書をなした文人でもあり、「過渡の久美浜」を著した。

十三代市郎右衛門の事。府議会議長(二回)、久美浜町長等を歴任し、京都府農工銀行頭取など、本町はもとより京都府の金融産業振興に貢献した。

また、先代の意志を継ぎ、多大な私財を注ぎ込み、昭和四年念願

の久美浜、豊岡間の鉄道開通を実現させた。

合併前の旧久美浜町は、第十五代当主より建物を譲り受け改築、平成十五年四月、歴史的建造物を活用した観光交流施設として開館した。

通り土間の吹き抜け

通り土間では、天井を張らず吹き抜けとし、壁の部分に明かり採りを受け、中の間の採光を確保しています。

また、先代の意志を継ぎ、多大な私財を注ぎ込み、昭和四年念願

雛御門(ひなごもん)

平入棧瓦葺き切妻造りの二階建てで、桁行9.4メートル、梁行3.9メートル(約2間)。屋根の両側には、格式的な外観要素として用いられる卯建をあげている。表側の外観に変化を与え、二階部表側に約1尺ほどと迫り出しているのが特徴。

蔵資料館

稲葉本家には、宝蔵としての2つの内蔵と、金蔵、米蔵、道具蔵などの外蔵がある。現在、その蔵を稲葉家の資料をはじめ、町に縁のある人達の作品展示や、また町内外から訪れた人の陶芸お香体験の場として活用している。

吟松舎(ぎんしょうしゃ)

峰頂賀昌公来遊に際し、江戸期に建てられたと伝えられる建物。妻入棧瓦葺き切妻造りの平屋建て。奥座敷は床の間、違い棚、付書院を定型に配している。こちらが、稲葉本家ゆかりの「ぼたもち」や昼食を「美味いたたけるくつろぎの空間」となっている。

特産品販売所

丹後のセレクトショップ。台所を改造した特産品コーナーには、厳選された久美浜の特産と、ちよと小粋な小物がいっぱい。

「地のモノ、地のヒトたちの商品を中心に、「美味いモノ、いいモノ」を販売しています。

丹後グッドデザイン
味で満点評価の
超美味



ガイド案内 ご希望の方へ

平成23年1月、京都府景観資産「城下町に由来する風情ある久美浜の街なみ」に指定された通りをガイドします。「ぶらり町あるき」、「久美浜四社めぐり」、「久美浜遊覧船」など組み合わせも可。時間・ガイド料については、お問い合わせください。

母屋

5年の歳月をかけ、明治23年に竣工。平入棧瓦葺き切妻造りの二階建て。桁行6間半、梁行7間半の主体部を中心に各室が四方に張り出している。最大の見所は当家の家柄と、贅力が象徴される土間と居間による、体的な吹き抜けの大空間構成。平成15年、文化財登録された(国登録有形文化財)



御殿雛

平安時代の御殿を再現した江戸時代中期に製作されたと推定される十二代市郎右衛門の先妻(幾勢)の嫁入り道具。毎年1月中旬から公開展示します。



匠処

米蔵を陶芸やお香を気軽に体験できる工房に改修。



陶芸

「作品は後日発送」はじめての方にも丁寧に指導いたします。

●料金 お入極 3,000円

お香

手軽にお香を楽しんでいただけセトを、用意しました。心休まる香りの世界に浸ってください。

●料金 お入極 2,000円

絵皿

世界に一つの絵を楽しみながら書いてください。

●料金 お入極 2,000円

体験は土・日・祝日の平日はご予約不要。材料費込、送料別

喫茶・食事



予約なし食事

●ほら寿司定食 (ほたもち1個付) 1,000円

●ほら寿司定食 (ほたもち2個付) 1,500円

予約食事

●幕の内弁当税別 1,500円

●松花堂弁当税別 2,500円

●相談ください。4,000円

ご休憩・お土産に ぼたもち

稲葉家と「ぼたもち」

歴史は古く、明治元年「久美浜縣」誕生を記念して、稲葉家が地域の文化に「ぼたもち」を配った。

また、十三代市郎右衛門は、田国鉄宮津線現在の丹後豊岡、久美浜間の開通に多大の貢献をしましたが、開通の折には、地域の人が「ぼたもち」を掲げて祝いました。今でも故人を偲び、稲葉家のある土居区には、「ぼたもち会」が年一回開催されています。

お持ち帰り用「ぼたもち」

500円

昔なつかしい味をご賞味ください。

※価格は予告なく変更させていただきます。場合により変更。